



あぐい

第152号

平成24年2月1日発行

議会だより



2P 議長新春あいさつ



8P 一般質問



20P グループ紹介

千本桜を活かし、育てる会



宮津保育園での
おやつ(クッキー)づくり

新春のあいさつ

自主防災組織の充実



議長 勝山 制

新春を迎えるにあたり、議会を代表してごあいさつを申し上げます。

皆さまのご多幸とご健勝をお祈り申し上げますとともに、日ごろより議会にお寄せいただいたとおりまですご支援とご協力に対し、心から感謝を申し上げます。

多くの皆さまのご支援をいただき、16名の議員が整ってから初めての新年を迎えたところでありますが、改めてその責任の重さを痛感しているところであります。

昨年、東日本大震災で被災された皆さまには苦難な年であったかと思えます。心よりお見舞いを申し上げます。巨大な地震と津波、特に原発事故による未曾有の被害を受け、今なお多くの方が避難生活を余儀なくされています。一日も早い復興を願っております。

私たちも人ごとではありません。この地域では、以前より東海、東南海、南海地震が必ず起るうると言われています。

議会としても、避難対策を基

に自主防災組織の更なる充実を計る取り組みをして、町民の絆を高めていただき災害に備えたまちづくりの推進を図るべきと考えております。

町民の皆さまから期待される行政を念頭に、町執行部と互いの知恵を出し合いながら、町民参加の町政運営に努力していく所存であります。

本年も多難な財政状況と、厳しい生活環境ではございますが、町民の皆さまのさらなるご支援、ご協力をいただきますよう申し

上げます。この一年が皆さま方にとつて輝かしいものでありますようご祈念いたしまして、年頭のごあいさついたします。



平成23年第4回定例会

機構改革

H24.4.1～

部	課	担当事務
総務部	総務課	庶務、人事
	検査財政課	財政、管財、情報
	防災交通課	防災、交通
	政策協働課	企画、協働、調査広報
	税務課	町税全般
民生部	住民福祉課	戸籍・住民、社会福祉、国保年金、福祉医療
	健康介護課	介護保険、保健
	子育て支援課	子育て全般（幼稚園）
建設経済部	産業観光課	農政、土地改良、商工、観光
	建設環境課	土木、都市計画、環境衛生
	上下水道課	上水道、下水道

現行

部	課	担当事務
総務部	総務課	庶務、人事、管財
	防災交通課	防災、交通
	企画財政課	企画電算、調査広報、財政
	税務課	町税全般
民生部	住民福祉課	戸籍・住民、社会福祉、児童福祉
	保険課	国保年金、福祉医療、介護保険
	環境衛生課	保健、環境衛生
建設部	産業課	農政、土地改良、商工
	建設課	土木、都市計画
	上下水道課	上水道、下水道

可決

阿久比町部設置条例の一部改正

行政機構を改革することに伴い、本条例を改正する。

可決

阿久比町暴力団排除条例の制定

本町からの暴力団の排除を目的とし、町が実施する施策の基本となる事項等を定める。

反対討論

杉野 明議員

第5回臨時会の議題であった人事院勧告による阿久比町職員の人事費の削減に伴う補正で、45歳以上の一般行政職員（80人）の給与が23年4月～11月まで遡って0・37%減額され、4月～11月まで128万3490円、12月～翌年3月まで70万8135円、合計で199万1625円の減額となる。

臨時会で述べた4点の理由で反対であり、水道事業会計も同趣旨である。

可決

平成23年度阿久比町一般会計補正予算

町立障害者福祉施設「もちの木園」の管理及び運営を、社会福祉法人愛光園に指定する。

期間は、平成24年3月1日から平成27年3月31日まで。

可決

阿久比町立障害者福祉施設の管理に係る指定管理者の指定

可決

阿久比町立もちの木園整備基金条例の制定

基金の総額は、567万1967円

請 願

請願者 阿久比町精神障害者家族会
「さざなみ会」代表 小戎 吉幸

採 択 精神障害者施策の充実を求める請願

紹介議員 渡辺 功 議員

主 旨 阿久比町における精神障害者の精神科以外の一般医療費を、身体障害者・知的障害者と同様に無料としていただきたい。

賛成 15人 反対 0人



町民の声を内閣総理大臣などに提出

不 採 択 後期高齢者医療制度の廃止、患者負担の軽減および 国民健康保険制度への財政措置などを求める意見書

提出者 杉野 明 議員

賛成 3人 反対 12人

賛成討論 辻 忠男 議員

日本の医療制度は、アメリカを除く先進国では最低水準になっている。健康保険制度も度重なる改悪により、最初は初診料だけの窓口負担だったのが、1割負担・2割負担・3割負担となり、病気になっても治療できない方があふれているのが現状。

早期診察・早期治療で元気な高齢者を1人でも多くするのが行政の責務と考える。一日も早く、後期高齢者医療制度をなくし、もとの老人保健制度に戻すことを強く要望する。

不 採 択 環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)への不参加を求める意見書

提出者 辻 忠男 議員

賛成 2人 反対 13人

賛成討論 杉野 明 議員

11月中旬現在、44都道府県議会で「参加すべきでない」という意見書が採択され、市町村議会では1425件の意見書が採択され、また、全国町村議会議長会でもTPP反対の決議を満場一致で採択された。

TPPは米・牛肉などの物品だけでなく、サービス・金融・労働などすべてのことが交渉対象である。規制緩和による市場開放は、日本の国益というより、米国の利益を優先するものである。

その国ごとに事情があり、その違いを尊重しながら対等平等の立場でやっていくことが重要である。

不 採 択 愛知県の福祉医療制度の改悪に反対し、充実を求める意見書

提出者 杉野 明 議員

賛成 3人 反対 12人

賛成討論 辻 忠男 議員

愛知県は、「行革」の名のもとに「子ども・障害者・母子家庭・父子家庭・寝たきり・認知症高齢者等」の医療費自己負担に対する公費負担制度を見直し、「一部自己負担」を導入する制度の検討を始めている。今、愛知県は、度重なる大型公共事業などにより、財政状況がひっ迫している。日本経済の低迷や社会構造の複雑化などが起因した、いわゆる弱者が増加している。また、貧困家庭（厚労省発表で1200万人）も増加しており、老々介護が急増し、精神障害者をもつ家庭では、自殺者・心中なども増加している。愛知県は福祉の心を持った施策を充実することが強く求められる。

陳 情

- ① 介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書
- ② 大幅増員と夜勤改善で、安全・安心の医療・介護を求める陳情書
- ③ 「介護職員待遇改善交付金事業」を平成24年度以降も継続することを求める陳情書
- ④ 「保育所運営費国庫負担金を廃止しないことを求める意見書」の採択を求める陳情書
- ⑤ 市町村管理栄養士配置に関する陳情書

議案等

◎全員賛成可決
○賛成多数可決
×否 決

議案

- ◎阿久比町暴力団排除条例の制定
- ◎阿久比町立もちの木園整備基金条例の制定
- ◎阿久比町部設置条例の一部改正
- ◎阿久比町一般職の職員定数条例の一部改正
- ◎阿久比町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び阿久比町消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- ◎阿久比町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- ◎阿久比町財産の交換・譲与・無償貸付等に関する条例及び阿久比町行政財産の目的外使用に係る使用料条例の一部改正
- ◎阿久比町立障害者福祉施設の管理に係る指定管理者の指定
- ◎愛知県後期高齢者医療広域連合規約の変更
- 平成23年度阿久比町一般会計補正予算
- ◎平成23年度阿久比町国民健康保険特別会計補正予算

◎平成23年度阿久比町下水道事業特別会計補正予算

◎平成23年度阿久比町後期高齢者医療特別会計補正予算

○平成23年度阿久比町水道事業会計補正予算

請願

◎精神障害者施策の充実を求める請願書

意見書

×後期高齢者医療制度の廃止、患者負担の軽減および国民健康保険制度への財政措置などを求める意見書

×環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）への不参加を求める意見書

×愛知県の福祉医療制度の改悪に反対し、充実を求める意見書

報告

専決処分の報告

第4回臨時会（平成23年11月15日）

議案

◎工事請負契約の締結（新保育所用地造成工事施工）

契約金額6377万7千円

◎平成23年度阿久比町一般会計補正予算（新保育所建設事業繰越明許費）
1億2057万2千円

第5回臨時会（平成23年11月28日）

議案

○阿久比町職員の給与に関する条例等の一部改正

一般職の職員の給料の額を改正するため（減額）

反対討論

澤田 道孝 議員

人事院勧告に基づくことなく、本町独自の給与体系を整えるべきである。

反対討論

杉野 明 議員

人事院勧告に基づく人件費の削減であるが、次の4点が問題である。

①人事院の労働基本権の問題、②給与に対する遡及権禁止に違反、③国家公務員7%削減なしの不平等さ、④名古屋市や愛知県の人事院勧告は2・5%引き上げであり、地域によって国と矛盾し、地域間格差がある。

総務建設

安全で平穏な生活を確保

当委員会に付託された議案8件を審議した。

暴力団排除条例の制定では、暴力団員かどうかの判断で、人権侵害とならない運用を願う等の意見があった。

一般会計補正予算では、人事院勧告による補正について、給料の遡及権の禁止や地域の実情に合わせるべき等、問題点を指摘する意見があった。

表決の結果は全員賛成6件、賛成多数2件で、全ての議案が可決した。

(竹内 一美 議員)



〔公財〕暴力追放愛知県民会議ホームページより

文教厚生

町民皆様の幸せを願う

当委員会に付託された7議案及び1請願である。

議案の主なものは、阿久比町立もちの木園整備基金条例の制定、もちの木園指定管理者の指定（愛光園）等である。

精神障害者施策の充実を求める請願書は、精神障害者の医療費を一般障害者と同様の無料としていた、だいたいという内容であり、議案及び請願を審議した結果、原案のとおり可決した。

(都築 重信 議員)



東浦町にある愛光園

視察研修報告

防災拠点・新庁舎建設を視察

総務建設委員会



千葉県西部
防災センター

大多喜町新庁舎



11月18日、千葉県大多喜町へ訪問。
新庁舎は、建設中に東日本大震災の影響を受けたが無事完成した。外壁のスチールパネルがスマート感を極立っている。内部は吹き抜けの開放的空間となっていた。
設計者選定にはずいぶん時間をかけたようだ。公募型プロポーザル方式で決定。千葉学氏が104件の公募の中から選ばれた。
現在は既設棟の耐震改修工事が行われている。
尚、前日は千葉県松戸市の西部防災センターにて、風速30m雨量30mmの暴風雨体験等を行い、防災意識の向上を図った。
(竹内一美議員)

東日本大震災を実感

文教厚生委員会



美里町

仙台市被害現場



宮城県美里町、大和町、仙台市の1市2町を視察。東日本大震災の被災状況を目の当たりにした。
美里町では3分間の大きな揺れで、役場議場の天井が落下。大和町では全壊家屋41棟との説明を受けた。
仙台市では海岸一帯、若林地区等を視察してきた。
(都築重信議員)

議会だよりを身近なものに

議会だより編集特別委員会



かほく市



津幡町(つばたまち)

11月7日～8日にかけて石川県の「かほく市」と「津幡町」に視察研修を行った。
かほく市では、DTP(直接印刷できる「データ」)化の取り組みを開始したことで、編集時間が短縮されていた。
津幡町は、議会だよりが議会終了後の翌月には発行され、より早く町民の皆さんへ議会の内容が届いている。又、同町の議会だよりはコンクールにおいて奨励賞を受賞されるなど、見習いたい点が多くあった。
今回お忙しい中、両市・町ともに議長を始め「だより編集委員」や事務局の皆様が視察を受け入れて頂き感謝しています。
今後は、多くの町民の方に興味を持って読んでもらえる議会だよりの編集を目指します。
(沢田栄治議員)

Q&A

一般質問

ここが聞きたい

町政を問う

大震災にそなえ後方支援拠点を

県の動向を見て検討していく



杉野 明 議員

Q

岩手県遠野市では、三陸沖地震を想定して地形と距離を考え、いざ震災となったために、後方支援拠点施設を関係市町で協議会を立ち上げ推進に努力をしている。本町も知多半島の真ん中で、しかも海に面していない立地条件を活かし、知多地方後方支援拠点施設推進協議会を立ち上げてはどうか。

① 近く起こるとされる3・4連動の震災に対して知多半島全体の後方支援体制は話し合われたのか。

② 後方支援拠点整備を5市5町で提案されてはどうか。

③ 加木屋断層に対する対策は。

A

① 愛知県地域防災計画に、地域防災活動拠点としてあいち健康の森公園を指定している。

② 後方支援拠点の整備には広大な敷地が必要となる。今後県の動向を伺いながら検討していく。

③ 木造住宅の無料耐震診断、耐震改修費の補助と、65歳以上の高齢者世帯への、家具転倒防止の取り付けを行っている。

また、各自主防災会の組織強化のため、自主防災会育成補助金、防災資機材補助金を活用していた。

放射線から子どもを守るために

地元の安全な農産物を使用

Q

各地で放射線量が問題になっている。特に、学校給食における食材ごとに放射線を測り安全性を担保しているか。

① 学校給食の放射線量対策はどう対応しているか。

② 個人向け放射線測定購入交付金助成を実施する考えは。

③ 本町の定期的な放射線量測定は実施されているか。

A

① 現在、国内に流通している食材は、各都道府県のモニタリング検査や、生産者等の自主検査により安全が確保されている。本町では、地域で取れた農産物を使用し、地域以外の食材は産地を確認して使用しているので、検査の必要はない。また、9月14日からは、財団法人愛知県学校給食会で、放射線測定を行う体制を取っており、必要となれば実施していく。

② 本町では、現在のところ助成する考えはありません。愛知県に確認したところ、県・市町村では、個人に対しての助成制度はありません。

③ 本町では、本年12月1日から放射線量を測定している。愛知県の放射線量の数値と比べて、本町の数値は下回っているので、福島原発からの放射能の影響は、特にないと考える。

資源ごみ盗難防止条例を

今後検討していく

Q

最近、資源ごみ置き場の新聞紙、鉄、アルミ缶などが盗難にあっています。これらの資源ごみは、報奨金として各自治会の貴重な財源となっている。

① 21、22年度の各自治会の報奨金の額は。

② 近隣市町では条例を制定して法的根拠を以て実行ある取組みをしている。本町も条例をつくる考えは。

A

① 町全体では、平成21年度は、599万8983円、平成22年度は、594万6825円で、前年度比5万2158円の減で、率は99・1%である。

② 愛知県内では、11市町で資源ごみ持ち去り禁止条例を制定している。

今後、資源ごみ置き場盗難防止条例化について、検討していく。



澤田 道孝 議員

上水道事業の不祥事への対応は 公金取扱マニュアルを作成



建設中の上水道第3供給点

Q

①水道料金横領事件は、再発防止を含めどのように処理されたか。

②第3供給点の「虚偽有印公文書作成同行使事件」の職員の処分を含めた事件の顛末を伺う。

③第3供給点の立木補償の不当高額補償事件の、職員の処分を含めた事件の顛末を伺う。

A

①公金取扱適正化検討委員会を設置し、公金取扱マニュアルを作成し、理解するように指示するとともに理解度テストを実施。また、コンプライアンス研修会を開催した。

②懲戒・分限審査委員会に諮り、公金官物処理不適正にあたるとして、担当課長と係長を戒告処分とした。

③職員は、果樹園所有者から確認した樹齢に基づき、補償契約を締結したが、監査委員の勧告による再調査では、補償額の決定根拠となる樹齢やミカンの出荷額等が確認できなかった。

職員は、立木補償費の返還に係る事務を執行し、果樹園所有者からは返還金の納付もあったことから、立木補償の事務執行については、懲戒理由がなく、職員の処分は行っていない。

阿久比町職員の懲戒処分等の指針の取り扱い

国・県の基準を基に指針を定めている

Q

第3供給点において

①非違行為の内容と懲戒処分の内容は、定められたとおり行われているか。

②懲戒処分が実施された時、定められたとおりの公表基準は守られているか。

A

①職員の懲戒処分が厳正に行えるよう、国家公務員の「懲戒処分等の指針」及び県の「懲戒処分等の基準」により策定しており、非違行為の内容と懲戒処分の種類は適正と考えている。

②「人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、毎年2月1日の広報及びホームページの中で、「職員の分限及び懲戒処分の状況」として、前年度の状況を公表している。

1%町民予算枠の内容は 協働によるまちづくりを目指す



都築 重信 議員



町長の公約である
1%住民税の町民利

用は、町民の皆さんと一緒に考え、町づくりのために活動し、利用できる仕組みとすべきと思うが、町の考えを伺う。

①町民予算枠のねらいは何か。

②町民予算枠の内容は。

③町民予算枠の予算はどの程度か。



①町長の公約であり、税金を有効に役立てていただくため、「町民予算枠」として、町民の皆様の提案により「協働によるまちづくり」を目指す。

②町民又は町民で組織する団体から提案をしていただき、町が事業を実施するものと、町民活動団体等から提案していただき、提案した団体が自ら事業を実施し、町が事業に係る費用を助成する二通りの事業体系を考えている。

③個人住民税の1%を財源とする考えで、約1千3百万円程度となる。



もちの木園

もちの木園の指定管理者移行

園生の待遇は変わらない



もちの木園が阿久比町社会福祉協議会から、民間に移行することについて伺う。

①なぜ管理者が移行するのか。

②管理者の移行後、園生の待遇は。



①障害者自立支援法により障害福祉サービス事業所に移行するため、適合する指定管理者を募集し、選定したところ、1つの法人が選定されたものである。

②新しい指定管理者には、現在の園生全員の利用と指導員の採用や下請け作業、ボランティアの受け入れを要請し、待遇が変わらないようにする。

観光利用は

観光コースを設定する



産業まつり



阿久比町観光協会が発足し、益々活発になることを望むが、今後の方策について町の考えを伺う。

①自然を活かした観光利用は。

②産業まつり、農業まつり、各地域のまつりの観光利用は。

③ほたる、花かつみ、板山の湿地等の観光利用は。



①阿久比川などの河川や流域の田園風景、中学校周辺の桜などの観光資源は、ハイキングやサイクリングのコースを設定して活用したい。

②町や各地域のイベントを観光利用するためには、町外の方にも来場いただけるよう、展示内容や開催方法を改善し、PRに努めたい。

③ほたるが町内の水辺で普通に見られるよう、水質浄化を進める。また、花かつみ園は周辺の桜やサツキを含めて観光資源として取り組みたい。貴重な動植物が生育する板山高根湿地や箭比神社の森などは、自然保護の観点から慎重に対応する。



竹内 一美 議員

新庁舎建設事業の推進

創造性・技術力等を審査し、設計者を決定



防災拠点、災害復興拠点となる新庁舎の建設は早期実現が求められる。

新庁舎建設基本構想「素案」が策定された。事業の理解を深め、早急な事業推進を願う。

①設計者選定の概要は。

・プロポーザル方式を採用の理由。

・選定委員の選定と構成。

・参加資格要件。

・基本設計完了までの日程。

②事業費の概算と財源は。

③完成までの現庁舎の防災対策は。



①選定の理由は、町との協同作業を進めるパートナーとして、企画・

技術提案等を提出させ、設計者の創造性、技術力、経験等を審査し決定する。

選定委員は6人以内で構成し、「学識経験者」「住民代表」「町職員」を予定。参加資格要件は、庁舎建設の設計を経験した実績を有する設計事務所等を求める。

基本設計完了は、平成25年3月末を予定。

②事業費は約30億円、庁



建設予定地・中央公民館南館を解体

舎建設基金約10億円、起債で約20億円を予定。
③来庁者の安全確保のため、各課のカウンターにヘルメットを設置した。
また、情報のバックアップとして滋賀県の保管センターでデータを保管している。オアシスセンターに対策本部としての機能が発揮できるよう準備を進める。

エスペランス丸山維持補修

計画的に更新を進める



エスペランス丸山の利用者から、音響・空調に不便があると指摘されている。設備毎の耐用年数に合わせた維持補修を予算化すべきと考えるが、今後の方針は。



阿久比町勤労福祉センターは、平成元年にオープンして22年経過しているため、施設の老朽化による不具合がある。

音響関係の設備は、逐次更新を進めている。空調関係の設備では、室温の調節が難しいなど、利用者の方にご不便をかけている。設置から長期間経過しており、補修部品の調達もできないため、計画的に更新を進めたい。



平成元年に竣工したエスペランス丸山

循環バスの改善を 将来に向けた対応を検討



議員 忠男

Q 十月から開始された循環バスの運行を抜本的に改善。

①二か月間の乗車人数を曜日・時間別に。
②積み残しの回数・人数は。

③利用者アンケートの主なものは。

④朝の出発時間が遅く利用できないことへの対応は。

⑤もちの木園、卯之山から宅老所には使えないか。

⑥東西には行けないか。
⑦バスの増台と狭あい道路への改善は。

A ①利用人数は、延べ9826人で、

曜日別では月曜日、時間別で午前中の利用が多い傾向にある。

②積み残しは、23回で、延べ69人。

③バス運行による感謝の気持ち、運行本数の増加及び、路線の見直しを望む意見がある。

④⑤試行運行期間であり、早朝からの運行は

できない。今後皆様の要望等を踏まえ検討したい。

⑥⑦試行運行中の皆様の利用状況や要望等を踏まえ、継続運行が可能と判断した場合には、解決策を見極め、将来に向けた循環バスの対応を検討したい。



阿久比駅前停留所

長良川から木曽川の水へ 塩素量は切り替えても同じ

Q 長良川河口堰からの水は大府市を除く知多半島と三重県の松阪市しか使っていない。国の大型土木工事の結果、水あまりにも関わらず不必要な水を

知多に押しつけられた。東浦町長・半田市長も木曽川に替える公約で当選している。①木曽川の水に切り替えたことがあるが、何回で何時間か。②長良川にしたことで増加したものは。

A ①長良川河口堰上流への塩水遡上により、平成16年7月19日～21日にかけて51時間の取水停止があり、その際に、

佐布里池に貯留されている工業用水の一部を取水して知多地域の断水を回避した。②平成10年度～22年度の使用量で、木曽川が水源の上野浄水場と長良川が水源の知多浄水場を比較すると、塩素が同程度、活性炭が約4・6倍。この理由は、知多浄水場から送った水が南知多町に到達するまで40時間程度かかることから、時間経過で減少する水道水中の残留塩素を維持する方法として、塩素投入量を増加するのではなく、活性炭を使って、塩素の分解を進める有機物を低減化するため。木曽川の水に切り替えても同じである。

保育園の対応は

途中入園にも対応

Q 年々増加している若い世帯のなかで「希望する保育園に」と

要望が出ている。①町内の保育園への入園希望の現在数と途中入園予想数。②宮津保育園の送迎時の車の混雑を保護者と相談して改善できないか。③新保育園の建築設計図に、防災への配慮・耐震設計は。④保育園に放射能測定器の設置を。

A ①現在の入園申込み状況は、英保育園が47人、草木保育園が124人、北原保育園が99人、宮津保育園が135人、城山保育園が52人、東部保育園が124人、中部保育園が117人、南部保育園が106人である。途中入園予想は、26人を把握している。②駐車場は7台のため、保護者会から保護者に徒歩での送迎や、やむを得ず車で送迎した場合

は早急に車の移動等をお願いしている。③現在の地盤を園舎と園庭部分で約1・4m嵩上げを行い、標高約10mとして、水害等に対応する耐震化については一般の建物より1・25倍の耐震性を備えた構造設計をしている。④現在のところ考えていない。



渡辺 和幸 議員

電力送電網を利用し安い電力を 電力経費削減を調査研究

Q

電力小売り自由化は、平成12年から送電網ネットワークにより法律で定められ、地方公共団体及び企業等の大口電力使用者に対して自由化されたが、本町の取り組みは、

①町内に電力小売自由化に該当する施設と件数は、

②該当する施設の電気料金を多数の販売業者と交渉又は入札する考えは、
③県内でもかなり成果を上げている市町もある。

A

①町が管理する施設の内、契約電力が50KW以上の施設は、役場庁舎など16件ある。

②今後、電力供給の制限や将来的な電気料金の値上げ等が懸念される状況を踏まえ、庁舎を始め各施設での節電対策や経費節減を図るべきと考えている。

③知多5市5町では実施している市町はないが、今後電力小売事業についての情報収集や調査研究を行い、電力経費節減について検討していきたい。

資源ごみ持ち去り防止対策

パトロール強化・持ち去り禁止看板設置

Q

資源ごみ持ち去りは、2年程前から比較的高価な古紙、アルミ缶等を中心に盗まれているが、なんらこれといった防止策もないまま現状に至っている。

①持ち去り犯人への防止策はあるか。

②これは窃盗事件であり警察との連携を密にパトロール等の考えは、
③本町も持ち去り条例の制定に前向きな検討、研究されるよう要望する。

A

①②資源ごみ持ち去りは、窃盗であり、半田警察署に取り締まりを強化するようお願いしている。

町では、生活環境保全専門員によるパトロール強化や持ち去り禁止看板を設置する予定。

住民の方々には、広報紙・回覧などで、持ち去り者を発見したら、環境衛生課に連絡をお願いしている。

③持ち去り防止条例制定は、罰則等の有無など近隣市町の状況をみて前向きに検討する。



矢口地区資源ごみ収集所

コンビニ納税を 納税の多様化へ研究



二井登喜男 議員



コンビニで納付できる納付書（見本は広島県海田町のもの）

Q 地方自治法の改正で、コンビニでの納税ができるようになった。土・日はもちろん、深夜でもOK。24時間いつでも納税が可能となる。最近では近隣市町での導入もある。

A 納付の利便性を高めることは重要なことである。全国の市町村でコンビニ納税の導入が進んでいる。先進事例の調査を行い、効果やシステム改修費用、収納代行手数料などについても調査し、費用対効果を考慮しながら、納税の多様化への対応として研究する。

女性議会の開催を 開催は考えていない

Q これからの自治体は、女性の意見を多く取り入れたところが栄えると言われている。より良い町づくりには、女性の視点や生活者の目線に沿った行政運営が必要であり、それを生かさなければ、本町の損である。

女性ならではの視点を発言する場を提供するため、「女性議会」を開催する考えは。

A 町では、「阿久比町男女共同参画プラン」を今年度末までに策定することから、あえて女性だけを対象とした女性議会を開催すること自体がいかげなものかと考えるが、町内の「あぐい女性の会」から、社会教育委員や男女共同参画プラン策定委員として多くの会議等に参画をお願いし、貴重な女性の意見として町行政運営に活用させていただいている。



女性の声を町政に



鈴木 一夫 議員

防災意識を高めるため本町全域に標高表示を マップに明示



今年度の防災訓練は、自助の精神でいち早く安全な所へ避難をする訓練であった。以下4点を伺う。

① 標高表示の設置をどのように展開し検討するか、していないか。
② 検討するとすればどのように進めるか。

③ 近隣市町の把握は。
④ 表示の方法を伺う。

(1) 表示の資器材は。

(2) PR普及の方法は。

(3) 自主防災会との関連は。

(4) 小中学生の参加も考えられないか。



① ② 現在作成中の標高マップに、避難施設、避難場所の標高を明示し、全戸配布する。

また、電柱に避難場所誘導表示の看板設置を行う阿久比町防災力強化協賛企業を募集している。

③ 4市3町が予定している

④ (1) アルミ板を検討している。

(2) 広報等で周知する。

(3) 1%町民予算事業を利用するなど地区の自主防災会の活動

として創意工夫することも有効と考える。

(4) 小中学生の防災意識を高めるため教育委員会とともに検討する。

英比学区、城山、北原、英3園の 跡地利用をどう考えるか

検討中



放置すれば老朽化が進み維持費が増大する。地域と連携をとり最も効果的な活用をすべき。以下4点を伺う。

① 城山、北原、英3園の土地所有者は。

② 安全面から今後維持費が増大し不都合なことが

多いのではないか。

③ 3園の土地・建物を再利用するとすれば何が考

えられるか。

④ 再利用に問題があるなら、この際民間へ売却し有効的活用は考えられないか。



① 城山、北原保育園は全て阿久比町、英保育園は阿久比町と福住の縣神社である。

② 英、城山保育園は、構造が木造のため、耐震化も含め改修費用は多額になると予想される。

③ 3園とも利用目的の結論は出ていない。

④ 現在のところ考えていない。



城山保育園



北原保育園



英保育園

リビオ植大宅地造成と町道

町道5300号線西側に交差



沢田 栄治 議員



アピタより町道5300号

Q ①工事等の進捗状況はどの程度まで進んでいるか。
②宅地造成される戸数はいくつか。
③造成地内に公園は確保されるのか。そうであれば公園の面積はいかほどか。
④既存建物を解体する場合の、近隣住民への安全対策は確保されるのか。
⑤アピタ西、町道5300号線と西側5196号線への接続についてどのような形態を計画するのか。

A ①現在は、第2期工事の事前協議中であり、協議が整った以後、開発許可申請が県へ提出され、許可が下りた時点で工事着工予定である。
②第2期工事は、戸建住宅の開発計画となり、38区画が計画されている。
③リビオ植大の開発には、公園・緑地が設置され、全体で合わせて892・94㎡設置される予定である。
④建築基準法の規定により、飛散防止のための措置を講ずることとなっている。
⑤町道5300号線と町道5196号線の交差部分はT字路の平面交差となる。

医療費の節減を

ジェネリック希望カードの利用促進

ジェネリック医薬品に切り替えるときには

「お試し調剤」から始めてみましょう

お試し調剤（分割調剤）をお願いすれば、試験的に使うことができます。

体調の変化に注意しましょう

服用し始めたときは、体調などの変化に注意して、以前と異なるときは、すぐに医師や薬剤師と相談しましょう。

医師・薬剤師の先生へジェネリック医薬品をお願いします。

●変更可能であればジェネリック医薬品（後発医薬品）へ変更をお願いします。
●このカードは、保険証・診療券などと一緒にお願いします。

氏 名

希望表示カード付き

ジェネリック医薬品の利用と普及にご協力をお願いします

ジェネリック医薬品が普及していくと...

- 国民医療費の節減になります
- 医療保険制度の安定につながります
- 医療費の自己負担額も軽減する場合があります

阿久比町国民健康保険

ジェネリック希望カード

Q 高騰する医療費の抑制のために「ジェネリック医薬品」の普及効果があると言われている。

A ①被保険者の自己負担額の軽減や療養給付費の削減のため、平成22年度からジェネリック希望カードの付いたパンフレットを、国民健康保険加入者全員に配布して、周知並びに、利用促進に努めている。



大村 文俊 議員

保護者のニーズにあった保育体制を

保護者の希望には対応できている

Q 子育ては、1日24時間、1年365日、片時も離れることはなく、今、この時への対応がとても重要である。

- ① 待機児童がでることはないか。対応は。
- ② 一時預かり事業への取り組みは。
- ③ あぐびっぴでの一時預かり事業を取り組むことはできないか。
- ④ あぐびっぴの新たな取り組みは。

A ① 今年度はない。来年度は、保護者が入園を希望する保育園のクラスが満員の場合、他園を勧め、現在調整中である。

- ② 現在、町内3園で一時預かり事業を行っているため、保護者の要望には対応できていると考える。
- ③ 可能であるが、新保育所で平成25年度から予定しているため、現在のところ考えていない。
- ④ 必要な事業があれば取り組んで行く。

職員の取り組みが、よりよい循環バス運行に

職員も試乗している

Q 循環バス試行運転から2か月、順調なスタートだと考える。

- ① 職員の試乗状況は。
- ② バス停のない地域の意見・要望は。
- ③ 停留所が暗く、危険な場所への対応は。
- ④ バスジャックの想定は。
- ⑤ ピアゴでの乗り継ぎを。
- ⑥ 利用者の具体的事例。

A ① 複数の試乗職員がいる。今後も循環バスを含む地域公共交通の利用促進を啓発する。

- ② 路線の見直しに関する意見がある。今後運行評価委員会の改善提案を踏まえ検討する。
- ③ 地域と連携し、防犯灯の増設を行う。
- ④ 安全対策として、運行事業者と協議を進める。
- ⑤ 現在の運行形態では、極めて困難と考えている。
- ⑥ 通院や買い物の利用が増えている。



循環バス乗降風景

利用者のための阿久比グラウンドを

常に良い状態で

Q 設備もよく利用者に評判のよい施設の阿久比グラウンドを、利用者のためのグラウンドに。

- ① 管理システムは。
- ② 利用者が満足してもらうための具体的な取り組みは。
- ③ 町がグラウンド運営で最重要に考えている取り組みは。

A ① 施設の貸し出しは、利用日の2か月前から3日前の予約としているが、利用内容によっては、事前に予約を受け付ける等の対応を行っている。

- ② グラウンド内に天然芝・黒土を使用し、安全に使用していただけるよう常日ごろから手入れに力を入れている。
- ③ 利用者の皆様が最善の状態でグラウンドを使用していたくため、常に良い状態に保つことで、ケガや事故防止を心がけている。



阿久比グラウンドで行われる高校野球地区予選

もちの木園の運営変化は 今までの生産活動で変化ない



三留 亨 議員



平成24年4月
1日より障がい

者自立支援法に基づ
く障がい者福祉施設
として運営内容が変
更される「もちの木
園」の、移管事務の
進捗状況等について
尋ねる。

①変更の理由。

②新委託先と決定根
拠。

③主な委託条件、特
に配慮した点。

④利用内容の変化点。

⑤環境変化、保護者

の懸念への対応。

⑥町負担の変化。



①障害者自立支援法で
平成24年3月末までに障

害福祉サービス事業所に移行
することと規定されているた
め。

②社会福祉法人愛光園。決定
根拠は、阿久比町公の施設に
係る指定管理者の指定手続き
に関する条例に基づき設置し
た、指定管理者選定委員会で
選定されたものである。

③障害福祉サービスに係る事
業や施設利用申請に関する業
務、施設や設備の維持管理業
務、施設の利用料金の徴収等。
特に配慮した点は、現在の利
用者全員との利用契約やもち
の木園職員の受け入れである。
④今の施設を利用し、今まで
の生産活動を行うので変化は
ない。

⑤園生に戸惑いはあるが、支
援員を継続雇用することで解
決できると考える。保護者の
懸念への対応は、平成24年1
月頃に指定管理者による保護
者への説明会を開催する。

⑥新体系への移行後は、年間
約7百万円の負担軽減となる
見込みである。



もちの木園



渡辺 功 議員

行政改革の総括と評価

おおむね達成できた

Q 行政の効率の悪いシステムの見直しが必要。

①第3次行政改革の総括を重点実施事項別に報告を。
②本行革の評価と課題は。
③私が行政運営上の問題と感じている(1)組織の縦割り(2)単年度予算(3)前例踏襲主義(4)年功序列制度について、行政側の見解は。

④役場の効率的な組織運営にむけ、現行の部や課・係の再編の考えは。

A ①別紙(表)
②目標は概ね達成できた。

③(1)国や県との関係もあり組織改編は難しいが、各所管の配置などわかりやすくしたい。(2)会計年度は地方自治法で規定されている。(3)職員自ら事務事業評価をすることでマンネリ化を防ぐ。(4)人事評価制度を導入し、能力、実績に応じた人事管理を行う。
④来年度より機構を改革する。

①別紙(表) 第3次行政改革

項目	内容	影響額
1 事務事業の見直し	規制緩和の推進 補助金等の整理合理化	△38,562
2 組織・機構	機能的に展開できる組織・機構の見直し 職員配置の見直し	△277,024
3 定員及び給与	定員適正化計画の策定 給与の適正化	△134,674
4 行政の情報化	庁内LANの活用 計画的なパソコン導入	+23,064
5 行政サービスの向上	公共施設利用申し込みの簡素化	+9,844
6 公正の確保と透明性の向上	住民への情報提供	+8,475
7 経費の節減合理化 等財政の健全化	自主財源の確保 予算の厳正な執行 経費の節減合理化 受益者負担の適正化	△74,253
8 公共施設	既存施設の有効利用	△3,000
9 公共工事	コスト削減 適切な入札方式の採用	△66,233
合 計		△552,363

(単位: 千円)

予算編成と事業仕分け 第5次総合計画に沿って進める

Q 全国の自治体で事業仕分けが採用される中で①前例を踏襲した仕事に流されてはいないか。②新年度予算編成にあたり、事業検証をどのように行っているのか。③24年度予算編成にむけて、税収等考慮すべきことは。

A ①今年度よりスタートした第5次総合計画に沿って予算編成を進める。②行政評価と予算査定での精査により行っている。③地方財政計画が未公表だが、大きな税制度改正などの情報は入っていないので、今年度並みの税収は確保できるものと見込んでいる。

新年度予算に反映を 『スポーツ村』

Q ①維持管理の年間費用は。②全体の利用状況は。③市民の利用実態は。④市民が有効活用できる多目的グラウンドへの再整備を。

A ①平成23年度の歳入予算額は、318万8千円、歳出予算額は、359万6千円。②平成22年度の実績は、野球場159回、陸上競技場・団体315回、個人1365人、トレーニング室8264人の利用があった。③野球場は、町内の野球連盟・グラウンドゴルフ協会や中学校など、陸上競技場は、サッカー協会・愛知駅伝選考会・小中学校などが利用している。他

にも子育て支援センターも利用している。④本町のスポーツを推進する上で中核となる施設がスポーツ村と位置付けており、今後も市民の皆様が利用しやすい施設となるよう、引き続き研究していく。

『ダイヤモンド・金婚者お祝いの会』

Q 行政事業として、式典まで必要なのか。

①対象ご夫婦に記念品をお届けしお祝いとしては。

A ①本年のお祝いの会は、実行委員会で内容を精査し、経費の縮減を図り実施した。また、社会教育委員協議会の委員にも参加いただき、会の開催状況などを確認され、協議会として「今後とも継続という方向で一致した。」とする報告書をいただいたので、事務局としては、この協議結果を尊重して、事業を実施していく。

『広報あぐい』

Q ①発行に要する年間総費用は。②内容を精査し、月1回の発行に変更しては。③集約した場合の費用効果はどの位か。

A ①広報あぐいの印刷代とホームページ用ウェブ版作成委託を併せて年間約1千万円。②発行回数を減らすと行政情報が遅れ、また、ページ数を抑制するため文字の縮小などが行われ、読みづらくなるので現行の発行回数を継続する。③内容を圧縮しても一部当たり現在の平均20ページが35ページ程度に増加するので、10〜13%程度の削減となる見込み。

千本桜を 活かし、育てる会



桜の下草刈りに汗を流しています



おにぎり振る舞い中

はじめまして、千本桜を
活かし、育てる為のボラン
ティアグループです。

中学校正門への坂道、一
期一会荘の周囲、熊田ヶ池
の周囲、阿久比町給食セン
ターの東、役場周囲等には
たくさん桜が植えられ育
っています。

桜の花は毎年華麗さを増
しております。ぜひ桜見物
にお出かけ下さい。桜の花
が終わると、緑豊かな葉が
見られます。また秋になる
と紅葉が見事であります。
季節により桜の変化が楽
しめる場所です。

この桜を育てようと老人
クラブ、ゲートボール協会、

阿久比くらしの会、一般の
方々、行政等々阿久比町の
各団体・個人が集まり、草
刈りや肥料まき等、桜の手
入れをしております。

終わったあとは、おにぎ
りやお茶、バーベキュー等
で楽しんでおります。
年に数回の活動でありま
す。参加希望者を募って
おります。

ぜひ楽しみながら参加し
て下さい。

問い合わせ先
阿久比町役場産業課
電話…48-1111

次回定例会

3月2日(金) (開催予定)

午前10:00～

皆さんの傍聴を
お待ちしております

問い合わせ先

☎ **48-1111**

FAX 48-1711

議会事務局へ

この二年「とんでもない政権
だ」と怒ったり嘆いたりしてい
る人がいるという報道を目にし
ます。しかし選んだ有権者にも
何%かの責任があるのでは。

そろそろ「おまかせ民主主義」
から卒業する時かもしれません。
国民一人一人の確かな目を、
「国政」に向ける時が来たよう
です。

議会だより編集特別委員会

委員長	二井 登喜男
副委員長	沢田 栄治
委員	久保 秋男
委員	竹内 一美
委員	都築 重信